

国立大学法人兵庫教育大学

学 報

第388号 平成26年 3月



平成25年度兵庫教育大学大学院同窓会都道府県連携推進会議の開催（関連記事6ページ）



留学生送迎パーティーの開催（関連記事7ページ）



加東市との共催による「加東市高齢者大学」閉講式の開催（関連記事9ページ）



学校教育研究センタープロジェクト研究発表会及び講演会の開催（関連記事10ページ）

目 次

- ◇学 事2
 - ・平成26年度学校教育学部推薦入試等合格者状況
 - ・平成26年度大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験合格者状況
 - ・寄附金
- ◇人 事3
 - ・人事異動
- ◇諸 報3
 - ・国立大学法人兵庫教育大学役員会
 - ・国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会
 - ・兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学部教授会
 - ・連合学校教育学研究科代議委員会
 - ・連合学校教育学研究科教授会
 - ・特別支援教育モデル研究開発室「第2回発達障がい支援アドバンスド講座」の開催
 - ・附属小学校研究発表会の開催
 - ・大規模災害等発生時における近畿地区国立大学法人間の連携・協力に関する協定の締結

- ・キャリアデザイン講座の実施
- ・附属小学校「うれしのフェスティバル」の開催
- ・平成25年度兵庫教育大学大学院同窓会都道府県連携推進会議の開催
- ・ボランティアステーション主催講座の実施
- ・留学生送迎パーティーの開催
- ・学生表彰の実施
- ・附属幼稚園生活発表会の開催
- ・附属小学校「兵庫県高等学校初任者研修（県立教育研修所事業）」への協力
- ・教員養成改革に関するシンポジウム「教員養成の高度化をデザインする」の開催
- ・加東市との共催による「加東市高齢者大学」閉講式の開催
- ・附属小学校「ありがとううれしの班」の開催
- ・学校教育研究センタープロジェクト研究発表会及び講演会の開催
- ・大学オーケストラ部による演奏会の開催
- ◇主要日誌11

— 学 事 —

○平成26年度学校教育学部推薦入試等合格者状況

学校教育学部推薦入試及び私費外国人留学生特別入試を1月28日（火）に実施し、合格者の発表を2月12日（水）に行った。

合格者数等は次のとおりである。

区 分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
	人	人	人	人
推薦入試	58	220 (277)	217 (272)	58 (58)
私費外国人留学生 特別入試	若干人	1 (3)	1 (3)	0 (1)

備考：（ ）は昨年度の合格者数等を示す。

○平成26年度大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験合格者状況

連合学校教育学研究科入学者選抜試験を2月16日（日）に実施し、合格者の発表を2月19日（水）に行った。

合格者数等は次のとおりである。

専 攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
	人	人	人	人
学校教育実践学	6	17 (13)	16 (13)	6 (4)
先端課題実践開発	4	15 (9)	15 (9)	6 (4)
教科教育実践学	14	31 (12)	29 (11)	16 (9)
合 計	24	63 (34)	60 (33)	28 (17)

備考：（ ）は現職教員である者を内数で示す。

○寄附金

寄附申込者	研究担当者	寄附の目的	金額（円）
兵庫教育大学附属中学校 育友会 会長 石倉健二		兵庫教育大学附属中学校の教育 研究の振興充実等のため	533,600

— 人 事 —

○人事異動

1. 事務職員

(1) 採用

平成26年3月1日付

職 名 等	氏 名	備 考
学生支援課国際交流チーム課員	山 野 雄 太	(新規採用)

(2) 退職

平成26年3月7日付

元 職	氏 名	備 考
研究支援課研究支援チーム事務補佐員	時 政 祐 里	

— 諸 報 —

○国立大学法人兵庫教育大学役員会

第19回 平成26年2月10日(月)

(議題)

- 1 平成26年度国立大学法人兵庫教育大学予算編成方針(素案)について
- 2 教員の懲戒処分について

○国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会

第11回 平成26年2月10日(月)

(議題)

- 1 各センター長等候補者について
- 2 経営協議会学外委員について
- 3 学校教育研究センターの改革について
- 4 実技教育研究指導センターの改革について
- 5 地域交流推進センターの改組について
- 6 就学前教育カリキュラム研究開発室の設置について
- 7 学則等の一部改正について
- 8 兵庫教育大学派遣留学に関する取扱規程の制定について
- 9 兵庫教育大学海外留学支援特別奨学金規程の制定について
- 10 教員の選考について
- 11 教員の選考開始について
- 12 カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの制定並びにアドミッション・ポリ

シーの一部修正について

- 13 ティーチング・アシスタント配置の見直し等について
- 14 平成27年度大学院学校教育研究科(修士課程・専門職学位課程)学生募集要項について
- 15 退学処分を受けた元大学院生からの不服申立てについて
- 16 教員の懲戒処分について

○兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学部教授会

第11回 平成26年2月10日(月)

(議題)

- 1 平成26年度学校教育学部推薦入試の合否判定について
- 2 平成26年度学校教育学部私費外国人留学生特別入試の合否判定について
- 3 平成27年度大学院学校教育研究科(修士課程・専門職学位課程)学生募集要項について
- 4 大学院学校教育研究科新設科目に係る修了要件及び課程認定の申請について
- 5 兵庫教育大学大学院学校教育研究科修士課程教職アドバンスプログラムに関する取扱要項の制定について
- 6 平成27年度入学生対象小学校英語活動プログラム対象科目について

- 7 平成26年度授業科目担当教員の変更等について
- 8 学生の学籍異動について
- 9 学校図書館司書教諭講習科目単位修得者の単位認定について
- 10 特別聴講学生の入学について

○連合学校教育学研究科代議委員会

第9回 平成26年2月17日(月)

(議題)

- 1 研究科特任教授の選考について
- 2 博士候補認定試験の実施について

○連合学校教育学研究科教授会

第3回 平成26年2月17日(月)

(議題)

- 1 平成26年度入学者選抜試験の合否判定について
- 2 平成26年度入学者選抜試験の追加合格の取扱いについて
- 3 平成26年度入学予定者の指導教員の決定について
- 4 連合学校教育学研究科教授(研究主幹)の選考について
- 5 平成26年度連合学校教育学研究科予算配分基本方針について
- 6 教員資格審査手続きに関する意見について
- 7 代議委員会の審議経過について

○特別支援教育モデル研究開発室「第2回発達障がい支援アドバンスド講座」の開催

2月1日(土)、神戸国際会館セミナーハウスにおいて、「第2回発達障がい支援アドバンスド講座」を開催した。

午前は、幅広い視野を持つための「特別講演・トークセッション」として、イギリス・サリー州にあるThe Park SchoolのKaren Eastwood校長から「イギリスの特別支援教育と学校マネジメント」と題した特別講演が行われ、ビデオでの学校紹介や校内研修についての情報提供を行った。引き続き、トークセッションでは、特別支援教育モデル研究開発室長

の宇野宏幸教授の進行による「特別支援教育スーパーバイザー(仮称)を語る」を行った。兵庫県立上野ヶ原特別支援学校八乙女利恵教諭、兵庫県立豊岡聴覚特別支援学校長谷川琴美教諭、新温泉町立浜坂北小学校片瀬廉士教諭の3人が、それぞれが考えるスーパーバイザー(仮称)像について熱心に語った。

午後は、2つの分科会に分かれて、特別支援教育をめぐる最新の課題について話題提供と参加者交流を行った。また、分科会Aでは、宇野教授の進行により、山口市立宮野小学校宮野大輔教諭による「国語授業のユニバーサルデザイン」、京都府総合センター後野文雄チーフアドバイザーによる「学び合う教師集団づくり」、モデ研尾之上高哉特命助教による「通常学級における授業がもつ可能性」と題した話題提供を行った。分科会Bでは、特別支援教育専攻の石橋由紀子准教授の進行により、三重県教育委員会大井雅博指導主事による「特別支援学校のセンター的機能による授業コンサルテーション」、兵庫県立赤穂特別支援学校井上和久教諭による「特別支援学校、保健センター、福祉機関が連携した特別な支援が必要な子ども・保護者への支援」、特別支援教育専攻の岡村章司准教授による「地域のトップリーダー育成のための対話型研修」と題した話題提供を行った。分科会A・Bとも途中、加治佐哲也学長の挨拶の後、後半は参加者交流型の対話セッションを実施し、最後に全体会で今回の学びの確認を行った。午前・午後あわせて約100人が参加し、特別支援教育についての全国的な情報発信と対話の場となった。



○附属小学校研究発表会の開催

2月1日(土)、附属小学校において、「『子ども一文化一教師』をつなぐ」の研究テーマのもと、平成25年度研究発表会を開催した。初めての土曜日開催であったが、本年度も遠くは沖縄など全国各地から約600人の参加があった。

午前は、開会挨拶・基調提案のあと、公開Ⅰ・Ⅱ・Ⅲとして、延べ20クラスで各教科・道徳・英語学習の授業を公開した。昼食時には、本校の特色ある教育活動であるうれしの総合活動のビデオを上映し、子どもたちの生き生きと活動する様子をご覧いただいた。午後からは、各教科・道徳・英語学習の分科会を行った。どの分科会でも白熱した議論が展開され、本校の研究に対して様々な角度からの意見を得ることができた。最後に、東京大学大学院教育学研究科田中智志教授を講師に迎え、「『経験の再構成』とは何か」と題した講演が行われた。

当日は、100人を超えるPTAボランティアや学生ボランティアなどの協力も運営を支える大きな力となり、大変密度の濃い有意義な研究発表会となった。



○大規模災害等発生時における近畿地区国立大学法人間の連携・協力に関する協定の締結

2月10日(月)、本学を含む近畿地区の13国立大学法人は、大規模災害時などに13大学が相互に連携・協力することにより、被災大学に対する迅速かつ的確な緊急支援および復旧支援を推進し、被災大学の業務継続の確保と早期復旧を図ることを目的とし

た「大規模災害等発生時における近畿地区国立大学法人間の連携・協力に関する協定」を締結した。協定を締結したのは本学を含む滋賀大学、滋賀医科大学、京都大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学、大阪大学、大阪教育大学、神戸大学、奈良教育大学、奈良女子大学、和歌山大学、奈良先端科学技術大学院大学である。

今後、13大学は、大規模災害発生時には被災大学からの要請に基づき、「食糧、飲料水、防災用具その他生活必需品物資の提供」、「教育研究活動等の復旧・再開のために必要な教職員等の派遣」等の相互の連携・協力を行うほか、平常時には災害対策等の情報共有を図っていく。



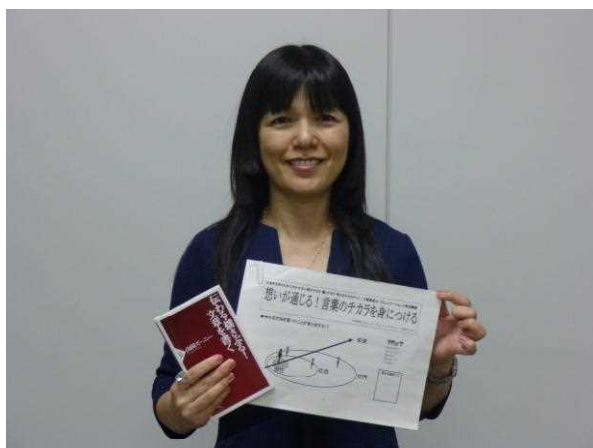
○キャリアデザイン講座の実施

2月12日(水)、共通講義棟において、文章表現インストラクターで作家の山田ズーニーさんを招いて、「想いが通じる！言葉のチカラを身に付ける」と題したキャリアデザイン講座を実施し、約100人の学生及び教職員が参加した。教職キャリア開発センターでは、学生が幅広い知識や教養、社会人としての基礎力・汎用力を身につけ、教職に対する準備や心構えを築くことを目的とした学習支援事業を行っており、その中心であるキャリアデザイン講座を平成22年度から開始し、今年度は14講座を実施した。

今年度最後となる山田ズーニーさんの講座では、「本当の自分を表現するためには、自分の根っこにある想い(根本思想)に自分自身が気づく必要があること。そのために自分でいくつもの問いを立て、しっかり自分の頭で考えなければならないこと。また、文章で表現するには7つの要件があること」などが、わかりやすい具体例を交えながら臨場感たっ

ぶりに話され、参加者は引き込まれていた。

参加者からは、「自分も今回、小さな勇気を出して、初めて大学主催のキャリアデザイン講座に参加した。自分が出したエネルギーは小さなものだったけれど、そこから得られたものは非常に大きかった」「本当に思っていることは相手に伝わるんだと思った。本当の思いを表現できるように、考えることを大切にしたいと思った」「自分自身が7つの要件を少しでも活用できたらと思います。4月から中学校教諭に復帰するので、進路指導などに活用したいと思います」などの感想が聞かれた。



○附属小学校「うれしのフェスティバル」の開催

2月14日（金）、附属小学校において、「うれしのフェスティバル」を開催した。この行事は、うれしの総合活動や生活科などの教科、道徳、特別活動の時間に子どもたちが学んできたことを学校の仲間や保護者、地域の方々に発表し、交流する場として位置づけている。

今年は、「彩～学びを伝え共有し新たな色をつくりだそう～」というテーマのもと、各学年が趣向を凝らした発表や展示を行った。今年のテーマ「彩（いろどり）」には、これまでの学習の中で培ってきたものを表現することで自分なりの学びを築き、これからの生活の中で自分なりの色を発揮してほしい、という思いが込められている。学習してきたことを発表し、たくさんの人々と交流することを通して、様々なものの見方や考え方に触れ、新たな学びを生み出していくことができた。



○平成25年度兵庫教育大学大学院同窓会都道府県連携推進会議の開催

2月15日（土）、神戸ハーバーランドキャンパス兵教ホールにおいて、平成25年度兵庫教育大学大学院同窓会都道府県連携推進会議を開催した。この会議は、本学修了生等に対する教育実践活動の支援、教育現場における実践的な教育研究資料の収集及び発信等を業務とする都道府県連携推進本部の施策の円滑な実施を図るために設置されているものである。

当日は、加治佐哲也学長をはじめとする大学関係者、大学院同窓会役員、大学院院生連絡協議会役員など53人が出席し、大学のミッションの再定義や各都道府県同窓会の活動状況などを話し合った。また、会議後には情報交換会を開催し、大学教職員、大学院同窓会員及び大学院生の三者が和やかに交流した。



○ボランティアステーション主催講座の実施

2月19日（水）、総合研究棟において、国立淡路青少年交流の家の田中裕幸所長を招いて、「ボランティアって何？～ボランティア体験の価値を考える～」と題した今年度初のボランティアステーション主催講座を実施した。当日は、ボランティアを体験した学部生や大学院生に加えて、まだ体験したことのない学生たちの参加もあった。

講座では、「ボランティア活動をして感じたこと」に関する意識・実態調査を題材に、コンセンサス（合意形成）を得るまでの過程を体験した。また、自分の考えを伝えることや他者の考えを理解する体験から、価値観の多様性について理解する場にもなった。さらに、教育を軸に、田中所長が過去、企業のコンサルタントをされていた際に培われた考え方、「今、社会が求めていること」や視点の違いなどについての話もあった。

参加者からは、「色々な立場の人がボランティアに求めているものは違って、それは国によっても違うんだなということを知りかされた」「同じ活動にしても、動機や感じ方など、思いはそれぞれ異なることがわかった。また、それが年齢や職業等によって全く違ってくることに気づいた。先生のお話を聞いて、自分の中で引っかかっていたことが明確になり、人生や考え方を変えようと思いました」などの感想が聞かれた。



○留学生歓送パーティーの開催

2月19日（水）、大学会館において、本年3月に修了予定の外国人留学生歓送パーティーが開催され、留学生や本学関係者、フレンドシップファミリー、加東市関係者らが参加した。

当日は、加治佐哲也学長から開会の挨拶を行い、安田正義加東市長からお祝いの言葉が贈られた。また、加東市国際交流協会池見清美会長の音頭で乾杯が行われた後、修了する留学生34人の紹介を行い、留学生からは、「1年間地域や大学の方々大変お世話になりました。感謝しています。母国に帰ったら日本の素晴らしさを伝えたい」などの挨拶があり、有志による歌も披露した。さらに有志が思い出の写真で作られたスライドショーを上映しながら、一年間の思い出を語った。参加した留学生たちはフレンドシップファミリーや日本人学生らと和やかに歓談しつつ別れを惜しんだ。



○学生表彰の実施

2月20日（木）、研究活動や課外活動で特に顕著な成果を上げた3人の学生に対する学生表彰を実施した。

1人目の被表彰者の大学院専門職学位課程教育実践高度化専攻小学校教員養成特別コース1年の松岡太嗣（まつおかたいし）さんは、陸上競技部に所属し、男子800mの種目において、第57回全国教育系大学陸上競技大会で優勝、第81回近畿陸上競技選手権大会で第2位、第51回近畿地区国立大学体育大学

で第3位など、多くの優秀な成績を収めたことが表彰の理由となった。

2人目の大学院修士課程人間発達教育専攻学校心理・発達健康教育コース2年の戸田早苗（とださなえ）さんは、日本ストレスマネジメント学会第12回学術大会研究発表において奨励研究優秀賞を受賞し高く評価されたことが表彰の理由となった。

3人目の大学院修士課程教育内容・方法開発専攻認識形成系教育コース自然系教育分野（理科）2年の宇井大貴（ういひろたか）さんは、日本ポーラログラフ学会主催の第59回ポーラログラフ及び電気分析化学討論会において学生ポスター優秀賞を受賞し、研究結果をわかりやすく説明したことが高く評価されたことが表彰の理由となった。

表彰式では、加治佐哲也学長から表彰状と記念品が手渡された。その後、出席した役員、指導教員と共に記念撮影が行われた。



○附属幼稚園生活発表会の開催

2月20日（木）～21日（金）の2日間、附属幼稚園において、生活発表会を開催した。

劇などの完成されたものを発表するのではなく、子どもたちの実態や経験してきたことから題材を考え、イメージしたことや感じたこと、考えたことを自分なりに様々な方法で表現することを楽しめるよう、子どもたちと教師が一緒になって考えを出し合いながらつくりあげた。一人一人の1年間の育ちを保護者とともに喜び合う機会となった。



○附属小学校「兵庫県高等学校初任者研修（県立教育研修所事業）」への協力

2月21日（金）、附属小学校において、兵庫県高等学校の新任教員約180人が小学校全教科・領域の授業を参観した。これは、県立教育研修所の初任者研修事業の一環で、高等学校の初任教員が本校の授業を参観することにより、小学校のきめ細やかな指導を学び、今後の高校教員としての指導に活かせるようにという趣旨で本年度より開催されたものである。

授業参観に先立ち、前日には本校研修主任による事前講話を行った。その講話から学んだ小学校教育の実際について当日じっくり見学することで、小学校ならではの細やかな指導内容、方法等を体感することができたと思われる。また、高等学校教員と授業後に交流することで、本校教員にとっても学びの多い時間となった。



○教員養成改革に関するシンポジウム「教員養成の高度化をデザインする」の開催

2月22日（土）、神戸国際会議場501会議室において、教員養成改革に関するシンポジウム「教員養成の高度化をデザインする」を開催した。本シンポジウムは、文部科学省の特別経費事業として平成23年度から取り組んできた「教員養成の抜本的改革に向けた体系的・機動的教育システムの開発」の成果報告を行うとともに、様々な立場で教員養成の制度改革に取り組む有識者の方々を招き、議論を深めることで、参加者の方々と共にこれからの教員養成の在り方について考える事を目的としている。

シンポジウムでは、加治佐哲也学長の開会挨拶の後、教員養成カリキュラム改革推進室の國崎大恩特命助教から趣旨説明を行い、続いて里見朋香文部科学省高等教育局大学振興課長より「教員養成の改革と充実について」と題して、教員養成における課題と現状を踏まえた教員養成系大学・学部のこれからの方向性について、講演が行われた。

引き続き行われた研究成果報告では、人間発達教育専攻の渡邊隆信教授、特別支援教育専攻の宇野宏幸教授、教育内容・方法開発専攻の濱中裕明准教授から、各部会において検討されたカリキュラムなどについて提案が行われ、最後に人間発達教育専攻の名須川知子教授による研究成果の総括が行われた。

休憩を挟み、高橋香代くらしき作陽大学子ども教育学部長、小西哲也山口県教育庁審議監に加治佐学長を交え、福本謹一理事・副学長の司会進行のもと、パネルディスカッションを行った。パネリストからは、岡山大学や山口県における教員養成の具体的な取り組みの紹介が行われ、会場に集まった約70人の参加者は熱心に耳を傾けていた。

シンポジウムの最後には、福田光完副学長から、大学や教育委員会での改革が進む中で、今回のシンポジウムを、教員養成の高度化について、改めて考える機会としていただきたい等の言葉や多数のご参加に対する謝辞が述べられ、閉会した。



○加東市との共催による「加東市高齢者大学」閉講式の開催

2月22日（土）、講堂において、加東市高齢者大学の閉講式を開催した。加東市高齢者大学は、加東市及び加東市教育委員会が主催し、本学が共催して、平成18年度から行っているもので、平成25年度は、昨年5月11日（土）に閉講式を開催した後、2月までの約1年間にわたり、教養講座・クラブ活動等を行ってきた。

閉講式では、安田正義加東市長の挨拶に続いて、来賓の挨拶、学習内容報告、皆勤賞の表彰を行った後、森田啓之学長特別補佐が『『熟成』の味を子どもたちに、そして地域に！』と題して記念講話を行い、年齢とともに様々な経験を重ねてきたからこそ生まれる心の余裕を持つて、子どもや地域に接することの重要性についての話があり、約500人の高齢者大学生は熱心に耳を傾けていた。引き続き、クラブ芸能発表が行われ、6つの芸能グループがそれぞれの1年間の活動の成果として、銭太鼓やコーラス、民謡、オカリナ演奏を披露するなど、和やかで活発な交流を行った。



○附属小学校「ありがとううれしの班」の開催

2月25日（火）～27日（木）の3日間、附属小学校において、「ありがとううれしの班」を開催した。これは、1年生から6年生が色別の縦割り班活動による班旗づくり、うれしのスポーツ、ミュージカル学習など1年間ともに実践してきたことを仲間と振り返る活動であり、またこれまでの活動を支えてきた6年生に感謝の意を表すとともに、5年生を中心に附小っ子の文化・伝統を守っていくことを決意する機会でもある。当日は、これまでの思いがあふれ涙する6年生の姿もあり、うれしの班の締めくくりとして自己を見つめ、よい思い出を心の中に刻むことができた。



○学校教育研究センタープロジェクト研究発表会及び講演会の開催

2月28日（金）、附属図書館ライブラリーホールにおいて、平成25年度学校教育研究センタープロジェクト研究発表会及び講演会を開催し、約40人の参加があった。

当日は、古川雅文学校教育研究センター長の挨拶の後、早稲田大学教職研究科三村隆男教授による「キャリア教育が学校を変えるーキャリア教育の実践と教師の成長ー」と題した講演会を行った。引き続き、「教職キャリア発達の観点から見た現代の教員に必要な資質能力に関する研究」、「児童生徒の日常生活及びキャリア発達に関する調査研究」、「大学と附属学校の連携による社会科授業開発研究」、「数学的言語力を育むための中学校数学科学習指導のあり方

の4つのプロジェクト研究担当者が、それぞれの研究課題に基づいて研究発表を行った。

最後に、今年度が最終となる本会の閉会にあたり古川センター長から、これまでの学校教育研究センターの教育研究活動への御支援・御協力に対する謝辞が述べられ、参加者から惜しまれつつ会を閉じた。



○大学オーケストラ部による演奏会の開催

2月28日（金）、附属幼稚園において、大学オーケストラ部の演奏会を開催した。

曲目は、子どもたちに馴染みのある「ジブリメドレー」「ディズニーメドレー」で、鑑賞した幼児は流れてくる曲に合わせて歌ったり身体を動かしたりしながら、生演奏を堪能した。演奏の合間などには、楽器に関連する幼児向けの曲を使ってわかりやすく楽器紹介が行われた。また、教育内容・方法開発専攻の草野次郎教授に教わりながらの指揮者体験が実施されるなど、工夫が凝らされていた。当日は、来年度入園予定者の親子や在園児保護者の参加もあり、附属幼稚園と大学との連携をPRする絶好の機会となった。



— 2月主要日誌 —

月 日	事 項
1日(土)	特別支援教育モデル研究開発室「第2回発達障がい支援アドバンスド講座」 附属小学校研究発表会
3日(月)	免許状更新講習推進室会議(第5回)
7日(金)	学校教育学部入学試験委員会(第6回) 附属学校就学指導委員会(第4回)
10日(月)	役員会(第19回) 教育研究評議会(第11回) 研究科・学部教授会(第11回)
12日(水)	学校教育学部推薦入試合格者発表 私費外国人留学生特別入試合格者発表
14日(金)	附属小学校うれしのフェスティバル
15日(土)	大学院同窓会都道府県連携推進会議
16日(日)	大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験
17日(月)	連合学校教育学研究科代議委員会(第9回) 連合学校教育学研究科教授会(第3回) 大学院連合学校教育学研究科入学試験委員会(第3回) 大学広報室運営会議 三附属連携推進協議会
18日(火)	研究推進委員会(第4回)
19日(水)	大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験合格者発表 大学院学校教育研究科入学試験委員会(第9回) 加東地域国際交流推進協議会 留学生歓送パーティー
20日(木)	学生表彰 附属小学校学校関係者評価委員会 附属小学校学校評議員の会(第2回) 附属幼稚園生活発表会(～21日)
21日(金)	学生委員会(第10回, 第11回)
22日(土)	教員養成改革に関するシンポジウム 加東市との共催による「加東市高齢者大学」閉講式
25日(火)	学校教育学部前期日程入学者選抜試験(～26日) 附属中学校学校関係者評価委員会

27日(木)	大学院学校教育研究科教務委員会(第11回) 学校教育学部教務委員会(第11回) 発明審査委員会(第2回) 学術図書出版委員会(第4回)
28日(金)	企画運営会議(第9回) 学校教育研究センタープロジェクト 研究発表会及び講演会

編集発行 兵庫教育大学総務部総務課

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

電話 (0795) 44-2315

<http://www.hyogo-u.ac.jp/>